

阪神大水害80年行事実施に向け、実行委員会を開催 当時の情報をお持ちの方は六甲砂防へご一報を！

H30. 5.21

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

昭和13年阪神大水害から80年となる今年度、六甲山系で行う各種行事を効果的な広報・啓発活動とするため、阪神大水害80年行事実行委員会を設置し、第1回の実行委員会を開催しました。

委員会構成員

委員長：沖村 孝（神戸大学名誉教授）
委員：浦川 豪（兵庫県立大学准教授）
坪井 塑太郎（人と防災未来センターリサーチフェロー）
神戸新聞社地域総研副所長
近畿地方整備局六甲砂防事務所長
兵庫県県土整備部土木局砂防課長
兵庫県農政環境部農林水産局治山課長
神戸市建設局防災部長
西宮市防災危機管理局防災総括室長
芦屋市都市建設部長
宝塚市都市安全部長

実行委員会の様子



沖村委員長の話



阪神大水害とは、昭和13年7月、神戸市ほか六甲山麓地域を見舞った災害で、河川の氾濫や土石流の発生、崖くずれ等により、死者・行方不明者679名、流失・倒壊・埋没家屋4,878戸という未曾有の被害が発生したものです。

この大水害から80年を迎え、当時の記憶をお持ちの方も高齢となっていることから、地域の災害を風化させず『個人の記憶を社会の記憶に』として取り組んでいきます。

災害当時の写真や体験者の方からの情報などを住民・行政・研究者等どなたでも閲覧でき、活用できるようデジタルアーカイブ化し、後世へ残していきます。また、取り組みに中学生等に加わってもらうことで、若い世代への記憶の引継ぎも目指します。

当時の情報をお持ちの方は、家族等からお聞きになった情報でも結構ですので、六甲砂防事務所調査課までご一報ください！！

昭和13年阪神大水害

個人の記憶を 社会の記憶に

阪神大水害から80年
当時の情報を求めています

体験者の方から伝え聞いたお話や断片的な記憶でも結構です。

- 大雨で災害が発生したときのお話
- 災害に見舞われた地域の被害の様子
- 伝え聞いた災害のお話

また、当時のことを記録した写真や作文・日記などがお手元にある方や、災害の様子を今に伝える道筋などをご存知の方は、それらの情報もお教えください。

主催 阪神大水害80年行事実行委員会
神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、兵庫県、国土交通省六甲砂防事務所、神戸新聞社、有識者

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

